

今夜7時から
西成市民館3階
毎週全曜日

みんなで作ろう
みんなの会館
三人よれば何とかなる知恵

夜間学校ニュース

西成区鉄之筈屋ス-5-23
解放会館ス階 釜ヶ崎夜間学校
連絡先！

労働者の街「釜ヶ崎」の

再生のために！

連帯と団結の拠点を我々の力で

創り出そう！

先週(金曜日)十月五日は、新今宮小・中学校の跡地利用についての署名運動懇談会が西成区役所で開かれ、夜間学校の仲間もそれに参加した。めに、夜間学校は休みました。二の会議の詳細については、今日の夜間学校で報告します。が、そこでわたしたちが感じたことは、二の運動への

たしたちの取り組みが決定的に弱い、ということ。新今宮小・中学校の跡地を、地域の子供と労働者のための施設として獲得しようというこの運動には、市教委、総評、西成地協を始めとして、多くの労働団体や、地域の諸団体に、夜間学校も参加している「釜ヶ崎差別」と言う連絡会

など、多くの仲間が結集しています。しかし、本当ならば、この運動の中心となるべき、釜の労働者の結集が一番おくれれています。釜ヶ崎に肉心を持ち、釜ヶ崎の労働者と連帯しようとしている、地域外の多くの仲間たちによって、この運動は進められている、というのが現在の状況です。こうした多くの仲間の支援に感謝しつつも、しかし、わたしたちは、あくまでも自分たちの運動によって、自分たちの力で、わたしたちの連帯と団結の拠点として、この新今宮小・中学校の跡地を獲得するのだという方向を見失ってはならないと思えます。こうした方向を見失なうて、ただ単に、地

域外の仲間たちの運動をアテにし、それにおぶさって、その運動の「成果」だけを期待するのはきわめて恥かしいことだし、またそれ以上に、どのようにして得られた「成果」は、決して、本当にわたしたちが望んだような成果とはなりえないはず。多くの仲間が生活しているこの釜ヶ崎は、しかし、現在は決して労働者にとつてくらしやすい、また誇れる街とは言えません。むしろ、労働者を苦しめることにより成り立っていると思われ、二のような状況を突破して、釜ヶ崎を本格的な労働者の街としてつくりかえてゆくためには、この街の未来の主人公である労働者が、この運動の最

新今宮小中学校の発展的利用

もっとも必要とする者

とこれが主人公たるべし

先週はじうで知らせたように、夜間学校を休んで、新今宮小、中学校の「跡地」利用についての会合に参加したので、その報告を...

会合の参加者は、総評西成地協一名、市教組南大阪支部、全港海建設支部西成分会二名、金日労・平議団一名、釜ヶ崎差別と闘う連絡会一名、子どもの里二名、校友会二名、夜間学校三名、母の会(仮称)二名...
この日、主に話し合われたのは要求を実現するための署名運動

動について。

どういり経過がよくわからないうが、総評グループの中で署名運動をこたり、要求を大阪市に提出するのには責任者はつきりさせた方がいりということになって、その責任者には市教組南大阪支部がなるといいうことが決められたようだ。
その結果、署名運動の呼びかけ人は市教組南大阪支部がなり、他は賛同人という形にしたいがどうか、という提案がなされた。(西成分会はこれに賛成した)

金日労・夜間学校・差別と闘う連絡会は、呼びかけ人と賛同人という別け方、とりわけ、今後、新今宮小・中の「跡地」が解放された後に、もっぱら主人公として使う子供達や労働者が運動の「賛同人」として位置付け

主人公としての態度が...

新今宮小、中学校の跡地は大人と子供が共に使い、共に生きる形で使えるように運動を進める、という原則は確認されています。
しかし、使い方の細かなことや、使用主体(使うもの)の集団形成(組織)としてのまとまりが、いまのところあせふやなものであることは不足できません。総評傘下の労組からすれば、頼りなくて話にならん、要りよ

けられることに強く反対しました。

そして、実行委員会をこしらえて署名運動を進めることを提案しました。
結局、この日は話がまとまらず、持ちこたなりました。
うにせんからまかしくけ、と...
いりたくなることごとしやう。
その善悪(?)はよくわかるにしても、釜ヶ崎も一つの集団としてのまとまりをつくりえるし、運動を進めていくことができる。(今の不十分さは将来に亘っての不可能を意味くない。)
釜の中の子供の、大人の、会食を作り、運営する主人公は、やはり釜ヶ崎の労働者である。自覚しよう。